

## 第 219 回（第 14 期第 12 回）日本知能情報ファジィ学会理事会 議事録

日時：2017 年 2 月 23 日（木）13:00 ～ 17:00

場所：関西大学 東京センター

出席者（敬称略）：萩原（会長），林（副会長），中川（副会長），片上（将来構想・他学会連携），金久保（会計），川本（会誌），橋山（大会事業），星野（電子化検討：Skype 参加），三河（広報），井上（会計監事），徳丸（事業監事：Skype 参加），堀口（事業）

欠席者（敬称略）：彌富（庶務），伴（賞選考・女性会員）

### 議題

#### 1. 前回議事録の承認（資料 219-0）

- 異議なく承認された。

#### 2. 新会員管理・年会費収集システムについて（資料 219-1: 星野）

- 新システムの費用負担について，銀行振込と郵便振込以外は年会費収集の費用を学会が負担することが承認された（ML 上にて承認済み 12/12）。
- しゅくみねっと社よりシステムの初期設定費・カスタマイズ費用・1 月と 2 月の月額利用料（39 万円）の請求があり，その支払いを完了したことが報告された。

#### 3. ベンチャー研究会「動きの様相から先を読む研究会」の設置申請について（資料 219-2: 堀口）

- 研究会の設置が承認された（ML 上にて承認済み 2/9）。活動期間は 2017/4/1～2019/3/31 の 2 年。
- ベンチャー研究会に対する活動助成額に一律に上限を設けることはせず，支部・研究部会と同様に申請ベースとし，事業計画等を精査して申請額の妥当性を判断することが確認された。

#### 4. 奨励賞の受賞方式について（資料 219-3: 伴）

- 下記のとおり第 5 条を改定することが承認された。  
（旧）受賞者は翌年度の総会もしくは本学会が主催する学術講演会において表彰され、本学会の会誌において公表される。  
（新）受賞者は総会もしくは本学会が主催する学術講演会において表彰され、本学会の会誌において公表される。
- 奨励賞は，当該研究が発表された年内に受賞者に授与される方式に改める，表彰式をいつどこで開催するかは学会賞選考委員会や FSS 実行委員会での検討に委ねる。

#### 5. IEEE CIS-11 Fellow ノミネーションについて（資料 219-4: 伴）

- 推薦の要件となる業績や寄与実績の評価に時間と労力を要し，推薦期限に間に合わせる事が困難なため，今年の Fellow 推薦は見送ることになった。

6. 論文投稿に関する倫理指針の策定について（資料 219-5: 林）

- 倫理指針策定の必要性が確認された。
- 将来、倫理指針を策定する WG が設置されることになった場合、法律専門家に WG に加わってもらった方がよいとの意見があった。

7. 特別会員の申請について（資料 219-6: 林）

- 特別会員申請 3 件が承認された（それぞれ ML 上にて承認済み 12/13, 1/7, 1/13）。

8. 2017 年度ファジィ関連国際誌購読料について（資料 219-7: 林）

- 下記のとおり購読料を設定することが承認された（ML 上にて承認済み 12/23）。
  1. Fuzzy Sets and Systems (FSS): 24,000 円
  2. International Journal of Approximate Reasoning (IJAR): 29,500 円
  3. International Journal of Uncertainty, Fuzziness and Knowledge-based Systems (IJUFKS): 雑誌のみ 24,500 円／オンライン 21,500 円
  4. Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics (JACIID): 19,500 円

9. IFSA からのアンケートへの返信（資料 219-8: 林）

- IFSA 次期会長 Javier Montero 先生から学会宛に届いたアンケートについて、林副会長が作成した回答案が承認された（ML 上にて承認済み 12/25）。

10. 会誌広告掲載料について（資料 219-9: 川本）

- 編集委員会で検討された 1 色 1 ページ 60,000 円（税抜）を基準とする掲載料案が審議され、承認された。

11. 学術著作権協会の契約書更新について（資料 219-10: 川本）

- 学術著作権協会との契約を更新することが承認された。

12. 電子化されていない FSS 原稿の J-Stage 掲載について（川本）

- 大会事業担当が預かった電子ファイルの管理を担当することになった。
- 最初の数年分のデータを使って、J-Stage へのアップロードで生じる作業量と費用の見積もりを作成することが確認された。

13. ISIS 2017 への協力について（萩原）

- 山田先生（長岡技科大; SCIS&ISIS 2018 大会長）より、ISIS 2017 への日本側からの投稿を増やすための協力依頼が理事会にあった。これに対して下記の対応をとることが決定した。
  - FSS 2016 と IFSA-SCIS 2017 の OS 企画者に対して、ISIS 2017 での OS 企画を依頼する。
  - IFSA-SCIS 2017 への投稿論文の執筆者に対して、更新版の ISIS 2017 への投稿を薦める。

#### 14. 次期理事会への引継ぎ事項の確認

- ファジィ学問塾をより魅力のあるイベントにする。そのための方策に関して、以下のような議論があった。
  - より印象的なイベント名にできないか
  - チュートリアルや若手研究者ネットワーキングランチなどの企画と統合する形で、FSSでの合宿型の交流イベントに。
  - ソフトコンピューティング分野の学生や研究室との交流に興味のある企業に参加してもらえるような企画に。リクルーティングやコネクション作りに関心がある企業は一定数いると思われ、スポンサー料をとることもできるかもしれない。
- 論文誌をより魅力のあるものにする。
  - 英文誌発行を含め、会誌発行事業の将来計画が必要。
  -

#### 報告

##### 1. 会誌発行計画（資料 219-R1：川本）

- 2017年（Vol. 29）の会誌発行計画が報告された。
- 編集委員会では回復したスケジュールどおりの発行が継続するように気を配っているとの報告があった。

##### 2. 学会 web について（資料 219-R2: 三河）

- 報告を省略。

##### 3. 日本学術会議協力学術研究団体実態調査（川本）

- 会誌担当がアンケートに回答し、その結果が日本学術会議のHPに反映されていることが報告された。

##### 4. 2016年度10,11月次決算（資料 217-R3: 金久保）

- 報告を省略。

##### 5. 会員数(11,12,1月末)について（資料 217-R4: 金久保）

- 報告を省略。

##### 6. SCIS&ISIS 2016 決算について（資料 217-R4: 金久保）

- 約470万円の収益があったことが報告された。現在決算書を監査中。

##### 7. FSS 2017 と SCIS&ISIS 2018 の準備状況について（持ち込み資料: 橋山）

- 両大会の準備状況が報告された。

#### 次回以降の理事会の予定について

- 第220回：4/15(土) @ 関西大学 東京センター

- 第 221 回 : 5/20(土) @ 関西大学 東京センター
- 第 222 回 (第 28 回総会) : 6/3(土)

以上